

ぎふかれん



No.68 2022年1月発行

発行 NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会

☎500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階

TEL/FAX 058-271-8169 HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>

理事長あいさつ

理事長 服部 信子

明けましておめでとうございます。今年一年の皆さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。昨年は、コロナ禍ではありましたが、2つの「知ってもらいた心の病」講演会と、「岐阜県精神保健福祉・家族大会」（県大会）を開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。アンケート集計によりますと、たいへん好評でした。

電話相談、面接相談の件数は順調に増えています。相談は、母親からが多く、父親・妻・兄弟姉妹からもあります。発症初期は、当事者も家族も混乱していることが多く、30分ぐらいお話を聞いています。また、当事者からの「寂しい」「安心したい」との電話もあります。皆さんも、困りごとがありましたら、お気軽にお電話下さい。

さて、1月23日（日）関市で研修会を開催します。「みんなねっと精神科医療への提言～誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療の実現～」の講演会です。

日本の精神科医療は、医療の質の問題、入院時の拘束問題、退院後の計画が充分でないなど・・・改善すべきことが多いです。みんなで、変えていきましょう。ご参加よろしくお祈りいたします。

昨年延期になった「甲州・東海ブロック家族大会」が、静岡県で3月開催予定です。参加して、元気をもらいましょう。今年もよろしくお祈りいたします。

新理事のあいさつ

ハウス希望 理事長 前田 幸恵

明けましておめでとうございます。皆さまのご健康と、ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。昨年10月より、特定非営利活動法人ハウス希望の理事長に就任しました前田幸恵です。以前「ぎふかれん」の事務のお手伝いを経験させていただきました。現在、養老町でハウス希望金屋事業所の施設長をしております。「ぎふかれん」の活動の中で学ばせていただいた経験が、今、ハウス希望の施設利用者そして、ハウス希望家族会の会員の方たちとの繋がりに大きく影響しています。

今回、「ぎふかれん」の活動にふたたび参加させていただけることをうれしく思います。まだまだ「ぎふかれん理事」としても「ハウス希望の理事長」としてもひよこレベルです。経験することすべてが勉強ですが、「当事者・家族の明るい未来のために」「ぎふかれん」の皆さまからたくさんのことを学ばせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成いたしました

『第38回知ってもらいたい心の病』講演会

日 時：令和3年7月18日（日）13：30～16：00

場 所：郡上市総合文化センター 文化ホール 郡上市八幡町島谷 207-1

テーマ：「きょうだい」・家族の苦悩を知ってください

シネマローグ（映画＝シネマ+対話＝ダイアローグ）

上映：『ふたり～あなたという光～』（40分）

ダイアローグ（対話）：「きょうだい」の方々

コーディネーター：浅野 雅彦 氏（精神保健福祉士）

参加者 82名

●講演（映画・対談）の内容について

映画：主人公の女性には統合失調症の妹がいて、日頃から家族が振り回されている。姉に彼氏が出来、結婚を考えるが……。障害者を兄弟に持つ人を「きょうだい児」「きょうだい」と表記します。精神障がい者を妹に持つ姉の葛藤。彼の動揺。それぞれの家族の思いが描かれています。統合失調症という病気の状態も描かれています。果たして、この結婚は上手くいくのでしょうか。

対話

柘植さん：実父は戦死し、母の再婚により子どもが誕生し5人兄弟となりました。養父は病弱な私を一生懸命育ててくれました。妹は成人し美容師として働いていましたが、親に結婚を反対され統合失調症を発症してしまいました。父母が亡くなり、妹の未納入院費も私が月賦で払い、面倒を見ることになりました。他の兄弟は非協力的で大変でしたが、平成18年からは医療費控除で負担が少なくなりました。73才になった妹は、服薬も安定し、月1万円渡し、犬・猫の散歩を仕事とし頑張っています。私も「ぎふかれん」の理事と地域活動支援センターふきのとうの施設長として頑張っています。

筒井さん：4歳年上の兄は、アスペルガー障害・強迫性障害・不安障害の診断名がついています。発症は小学6年の時で、母は兄の世話で精一杯でした。自分は手のかからない良い子になろうと思い、学級委員・班長を毎年やりました。そんな家を離れたかった私は、大学で上京し、そのまま東京で働き始めました。10年後に岐阜に帰り、引きこもり状態だった兄を病院につなげ、手帳・障害年金取得を一步一步進めました。「こんな状況の私が結婚出来るわけがない」と諦めていましたが、窮地を救ってくれた親友が自分の幸せを願ったので、親友の願いを叶えるべく婚活し、兄・家の事情をオープンにし結婚しました。自分自身がうつ病も経験し、父母は80歳代で8050問題もあります。親亡き後を考えて、支援者の援助を受け、自分達夫婦で兄を支えています。自分がやってきた経験が、皆さんのお役に立てばと、「ぎふかれん」で、電話相談員・事務局長として頑張っています。



『第39回知ってもらいたい心の病』講演会

日 時：令和3年10月3日（日）13：30～16：00

場 所：那加福祉センター 集会室 各務原市那加雲雀町 15 番地

演 題：「今を生き、そして未来に生きる」

コーディネーター：浅野 雅彦 氏（精神保健福祉士）

当事者の発表 ・地域生活支援センターすいせい

・クラブハウスゆうせん

家族の発表 ・林さま（母親） ・宮崎さま（父親）

参加者 64 名

「ゆうせん」の管理者：「クラブハウスゆうせん」は 16 年前に設立しました。メンバー（当事者）とスタッフがチームを作り活動しています。生活支援や就労支援をしている福祉サービスの事業所です。

メンバーA：「ゆうせん」には、9 年前までお世話になりました。今は、障害者枠で一般就労しています。父の他界で一人暮らしになり苦労していますが、「ふらっと」を利用し、ヘルパーさんに来てもらっています。「ゆうせん」を心の拠り所とし頑張っています。

メンバーB：母は精神障がいでしたので家事・介護で大変でした。大学の時、不調になり適応障害と言われました。その後、祖母・母が亡くなり、躁うつ病で入院しました。頑張りすぎると「うつ」が出るのでペース配分に気を付けています。今は「ゆうせん」に通っています。

Cさん：育児で大変な時に発病し、離婚し実家に帰りました。その後、父母が亡くなり、1 人暮らしになりました。今は、B型作業所「つくしの家」で働き、ヘルパーさんの援助を受けて生活しています。もうすぐ 40 歳になる 2 人の子どもに会えるよう、頑張っています。

Dさん：県職員 2 年目に、統合失調症を発症し入院しました。原因は失恋だと思います。今は、社会福祉法人「ふなぶせ」で福祉指導員として働いています。病気になったことで会える人が多くなり、良かったと思っています。「すいせい」のピアグループスマイルをNPO法人にする事が夢です。

家族E：娘は 6 年前「うつ病」と診断され、親として葛藤しました。服薬で副作用が出たり、無断で服薬を止め入院したり、親に対する依存症が出たり、水中毒になったりと大変な日々が続きました。今は、幻聴はありますが、落ち着いてきて、訪問看護も受け入れています。たんぼぼの会家族会で勉強し皆さんの助けになるような事をしたいと思っています。

家族F：私は 80 歳で、入院中の妻と息子の 3 人暮らしです。息子は 26 歳の時に発症し、3 回ほど入院しました。今は元気で 20 年間休まず夕刊の新聞配達を続けています。自宅で内職もしています。

私は 10 年前から息子に文句を言いません。最初の 3 年間はよく怒りました。絶対言わないようにすると、良いところが見えてきました。自然に「ありがとう」が出てくるようになりました。私には大事な息子です。息子も私を大事にしてください。

浅野さん：普段は精神保健福祉士として当事者と接していますが、家族の方のお気持ち御苦労が分かりました。皆さん丁寧に話して頂きありがとうございました。



『第41回岐阜県精神保健福祉・家族大会』

日時：令和3年10月24日（日）13：30～16：00

場所：市橋コミュニティセンター 大集会室

テーマ：「当事者・家族のリカバリー」

・当事者の発表 クラブハウスゆうせん 今井さん・塚原さん
中濃わかば会 山岡さん

・「ぎふかれん」の活動報告

・功労者表彰 今村 辰司 様・大下 恵子 様・久保田 正司 様・宮下 俊夫 様

参加者 55名

県大会を3年ぶりに開催しました。岐阜県健康福祉部保健医療課の赤尾課長と岐阜県精神保健福祉センターの丹羽所長を来賓にお招きし、ご挨拶を頂戴しました。お2人にはご多忙の中、最後までご臨席いただき、私達の現状・希望を聞いて頂きました。

次に、当事者の「クラブハウスゆうせん」の今井さん・塚原さん、「中濃わかば会」会員の山岡さんに発表していただきました。

○女性：以前は、娘・家族の世話・家事をしていました。2年前から一人暮らしを始めました。自由で、何をしたら良いか分からなくなりました。ヘルパーさんに無理をしないことを教えてもらいました。「ゆうせん」に通い、ストレスを感じた時はSOSを出すことが出来るようになりました。

○男性：長年うつ病で、いろいろな仕事をしてきました。一般就労で2回再発しました。母が亡くなり1人になり、今は「ゆうせん」のB型作業所に通い、1年半になります。以前は金銭面で不安があり、精神的にも不安定でしたが、作業所に通所するようになり「行くところがある・人との対話・薬・軽作業」と目的意識が持てました。現在はコツコツと安定した生活を送っています。お金の管理は、社会福祉協議会にお願いしています。

○男性：大学卒業後、名古屋で就職。しかし、幻聴が聞こえるようになり、父が迎えに来て入院となりました。その後、父の仕事を手伝いますが、50歳の時に父が亡くなりました。話し相手・居場所を見つける努力をしています。現在は、ヘルパーに来てもらっています。

その後、「ぎふかれん」の活動報告・事業計画の説明をしました。皆さんの要望をお聞きしました。当事者のピアサポート活動の拡大の要望があり、岐阜県の方針を赤尾課長から直接聞くことが出来ました。

最後に、功労者表彰を行いました。

10年ぶりに、「ぎふかれん」として、長年家族会活動にご尽力いただいた4名（今村辰司 様・大下恵子 様・久保田正司 様・宮下俊夫 様）の皆さんを表彰させていただきました。



全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと東京大会

日 時：令和3年10月7日（木）全体会（調布市会場・オンライン）
10月8日（金）分科会（北区赤羽会場）

「ぎふかれん」の事務所で数名がオンラインで参加しました。

11：00～11：50 オープニング・アトラクション 開会式

12：55～ 基調講演 テーマ『当事者・家族が生きいきと地域で暮らしていくために
～医療・福祉の連携～』

講師：白石弘己氏（東洋大学名誉教授、なでしこメンタルクリニック院長）

14：35～ みんなねっと活動報告 みんなねっと理事長 岡田久美子

15：05～ 特別講演 テーマ『首都東京の精神医療を考える～都立松沢病院の取り組み～』

講師：齋藤正彦氏（東京都立松沢病院 名誉院長）

●みんなねっと活動と方針

- ・今後の精神保健医療福祉のあり方を策定

昨年は医療のあり方を検討し、今年度総会で「みんなねっと精神科医療の提言」を発表

- ・交通運賃割引制度実現の取り組み
- ・重度障害者医療費助成制度の適用運動など

●特別講演「都立松沢病院の取り組み」

NHKでも、松沢病院のコロナ禍での取り組みの様子が放送されました。一般の精神病院では、十分な治療ができず重症化したコロナ患者・合併症患者を断ることなく受け入れる姿勢が映し出されていました。

東京都には、身体合併症医療事業があり、都立松沢病院は、総合病院の治療にはなじめない精神症状の重い患者さんの身体疾患に対しての最後の砦になっています。

2012～2020年度（齋藤氏が院長）の経営目標は、①民間医療機関の要請を断らない②患者さん
に選ばれる病院を作る③業務改善によって働きやすい職場を作る④地域を支え、地域に支えられる病院
を作ることです。

- ①民間病院で手を焼いている治療困難な患者さん、家族とのトラブルが多い患者さんを受け入れている。
- ②拘束や隔離がない・少ない病院、自分の意志で休息入院したくなる病院を目指しました。夜間休日の緊急措置患者の拘束が66%あったが、今はほとんどありません。
- ③④松沢病院の評価は上がったが、医師、看護師などの働き方・経営改善は事務公務員が担っているので進んでいません。都は独立行政法人化を目指していますが、私は反対です。

中濃わかば会主催 家族による家族学習会

事前準備会（2回）令和3年9月26日・10月10日 関市総合福祉会館 1階 担当者5名

家族学習会（5回）令和3年10月17・31日 11月7・21・23日 同上 生活訓練室

参加者6名・担当者5名（アドバイザー2名）

参加者も担当者も勉強になり、困りごと・いつもの不安などが充分話せました。発病2～3年で薬の副作用で大変な方、親子の距離を離すように医師に言われている方、工夫して通院できるようになった方、会員からは良い状態と言われるが心配な方、ひきこもり状態だった息子さんが、突然芋ほりに出て来られた方、色々な話が出ました。参加者の中で家族会に入会してくださった方もありました。

岐阜県精神保健福祉研修会

日時：令和4年1月23日（日）13：30～16：00

場所：わかくさプラザ 多目的ホール

〒501-3802 関市若草通2丁目1番地

演題：『みんなねっと精神科医療への提言

～誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療の現実～』

講師：青木 聖久（あおき きよひさ）教授

（日本福祉大学教授 博士・全国精神保健福祉会連合会理事）

甲州・東海ブロック家族会 精神保健福祉促進研修会 静岡大会

テーマ：社会とつながる精神保健福祉の実現をめざして

～精神障がい者と家族が安心して生活していくために～

日時：令和4年3月10・11日

場所：静岡県男女共同参画センター“あざれあ”

（静岡市駿河区馬淵1-17-1 静岡駅北口より徒歩10分）

●3月10日（木）14：10～16：10

基調講演『現代精神医療批判とソーシャルワーカーのあり方』

講師：高木 俊介 氏（京都市）たかぎクリニック院長、ACT-K 代表

●3月11日（金）9：30～11：20

特別講演『精神障害を抱えた当事者が地域で安心して暮らすには』

講師：内田 勝久 氏 静岡県精神保健福祉センター所長

第1分科会「当事者との交流会」 体験発表とフリートーク

コーディネーター：増田 樹郎 氏 静岡福祉大学副学長

第2分科会 映画上映「オキナワへいこう」

訃報

令和3年2月に今村 辰司さま（享年84歳・元ぎふかれん理事長）、8月に久保田 正司さま（享年79歳・元ぎふかれん副理事長）がご逝去されました。

長年にわたり、ぎふかれんと家族会にご尽力されました方々を失うのは残念でなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

😊お礼😊

家族会会員の方から、多額の寄付金を頂戴しました。ここに感謝申し上げます。

NPO 法人ハウス希望 紹介

●障がい者自立支援事業

NPO 法人設立の趣旨

当ハウス希望は心の病を持つ人の拠り所として、家族会が運営母体となり、障がい者が親亡き後に自立生活と就労復帰を目指す事業所として、平成18年9月に金屋事業所を立上げ、翌年7月に『就労継続支援B型』の認定を受けスタートしました。平成28年12月には島田グループホームを『共同生活援助』の認定を受けスタートしました。

運営法人本部

名称 特定非営利活動法人 ハウス希望
(金屋事業所内)

就労継続支援B型

名称 ハウス希望金屋事業所
所在地 〒503-1339
岐阜県養老郡養老町金屋79番地2
TEL/FAX 0584-32-0088
利用定員 20名
指導員 常勤5名 非常勤2名

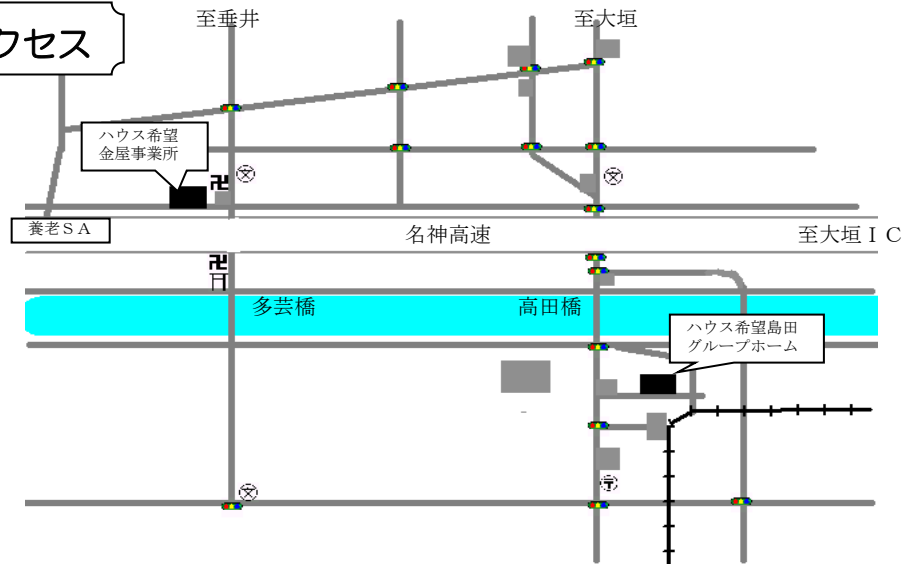
共同生活援助

名称 ハウス希望島田グループホーム
所在地 〒503-1314
岐阜県養老郡養老町高田字栗下4321番地
TEL/FAX 0584-71-6081
利用定員 8名
指導員 常勤2名 非常勤1名

事業運営について

- ・NPO法人の運営は、利用者の家族が中心として親亡き後の社会参加や、自立生活を家族や地域の支援者と一緒に考え、社会復帰を目指します
- ・ハウス希望家族会は原則隔月第2土曜日に金屋事業所で開催
- ・会議の構成・・・法人総会・理事会、家族会議、職員会議、全体会議（職員・利用者）、支援者会議（相談員他）

事業所へのアクセス



月刊「みんなねっと」の購読を！

全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は精神障がい者の家族会の全国組織です。国の障がい者福祉・医療の施策制定に委員として参画しています。

年間 3,600 円（賛助会員 会費に購読料含む）

発行者 公益財団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）

TEL 03-5941-6345 FAX 03-5941-6347

ご希望の方は連絡してください。

家族向け交流サイトみんなねっとサロン

～親、子ども、きょうだい、配偶者、パートナー等 ご家族の方限定～

■ご利用方法（無料）

<https://minnanet-salon.net/service> （みんなねっとサロンで検索）

く 家族による家族のための電話相談

同じ悩みを持つ家族だからこそ

共感できます！

相談日：火曜日・木曜日・金曜日（10：00～
15：00）面接相談も行っております。

TEL：058-271-8169（祝祭日休み）

携帯：090-6578-9838（精神保健福祉士）

HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



会員（家族会員）・賛助会員及びボランティア募集

家族会員は各地区の家族会として、それぞれ募集致しております。

岐阜県精神保健福祉会連合会（ぎふかれん）では、各家族会を会員とした NPO 法人として、家族会のネットワークにより、地域精神医療・福祉の向上を目指しています。

是非、会員や賛助会員になっていただき、ご援助お願いします。

会員：1,000 円/年 賛助会員：個人 1 □ 1,000 円 団体：10,000 円

郵便振替口座：00890-9-123784 □座名：岐阜精保福連

【 編 集 後 記 】

「ぎふかれん誌」68号をお届けします。原稿ありがとうございました。

コロナ禍でオンライン会議が多くなりましたが、講演会で会員の皆様の顔を見ると心の結びつきを感じます。

編集担当者一同